

川の流^{なが}れとはたらき

川^{かわ}はどのように流^{なが}れ、どんなはたらきをするのでしょうか。



かわざし
けずられた川岸



すな うんばん
砂などが運搬されているにごった川の水



すな いし
砂や石がたまってできた河原

「浸食作用」

なが はや じょうりゅう おおあめ
流れが速い上流では、大雨の
ときなど大きな石がおし流され
ます。また、みず なが ちから かわ
水の流れる力で川
岸や川底をけずります。これを
しんしょくさよう
浸食作用といいます。

「運搬作用」

なが いし どしゃ みず ちから
流された石や、土砂が水の力
かりゅう はこ うんばん さ
で下流に運ばれることを運搬作
用といます。

「堆積作用」

はこ すな なが
運ばれた砂が流れのゆるやか
なところにたまって、つみかさ
なって河原や州をつくることを
たいせき さよう
堆積作用といいます。